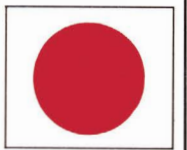




毎月十五日発行 宗像大社 宗像大社 定価 一年送料共 1000円



二月十一日には 国旗を掲げ 建国記念日を 祝いましょう

意義深き佳年を迎え

癸酉の年頭にあたり

宗像大社 宮司養父守



平成五年の新春を迎え、謹んで皇室の御慶賀と国家の隆昌、併せて氏子崇敬者皆様方の益々の御多幸と御健勝を心より御祈り申し上げます。

昨年、国内外共に多事多難の年でしたが、今年は大難無難、西蔵にあやかって、活気に満ちた飛躍の佳年でありたいと念じております。

本年は伊勢神宮において第六十一回式年遷宮の行われる意義深い年でもあります。式年とは「定め年」の意で、伊勢神宮の式年は二十年に一度とされています。

も、同じ善相、同じ技術で造り替え、総てを一新して御神体を旧殿から新殿へお遷し申し上げる祭のことであります。

「たふとくに皆神あひぬ御遷宮」これは伊勢松尾芭蕉が、元禄二年九月十四日、外宮の遷宮の盛儀を詠んだ句ですが、この年、芭蕉は奥の細道百五十余日の旅を終え、その足で伊勢に赴き、遷宮を目のあたりにしたのです。

御祝詞を申し上げます (New Year Greetings) section with lists of names and titles for various staff members and branches.

交通安全宗像大社の御神徳をたたえ奉りて (Toyota Safety and Shrine Blessings) section featuring Toyota logos and contact information for various Toyota branches.

年頭の御挨拶

宗像大社氏子会長 出光 太蔵



新春を迎え、謹んで皇室の弥栄を慶び、宗像大社の益々の御繁栄をお祝い申し上げます。併せて氏子崇敬者皆様の御多幸と御健康を御祈りいたします。

昨年、氏子会の大役を仰せ付かり、毎月一日、十五日の月次祭、春秋例大祭、特に海上ご神幸みあれ祭等種々の行事に真心を以って御奉仕出来ました。誠に感謝の年でありました。

尚第三回大社氏子研修会は宗像大社参拝と、随岐を訪ねての旅で、出雲大社では正式参拝、八咫門前でお祓いを受け瑞垣内へ参進、代表の玉串拝礼に併せて一同拝礼、偉容の厳さに驚嘆しました。出雲の祭神大國主神と胸銘「姫神の第一姫神は、神話と神婚された」とあり、大國主神は部族同志の融和団結を計り、天照大神に国土奉還された出雲国造りの祖神であると記されています。そのゆかりある造りの祖神であり、平成四年度は傾向にあり、平成四年度は会員数一五、五〇〇名の目標を立て、おりました。宗像市郡は年次人口増の現状であり目標達成に、格別のご尽力を賜り度と存じます。

新春を迎え宗像大社の御神徳を景仰申し上げ、皆様方の良い年でありませうよう頭のご挨拶といたします。

年頭のあいさつ

沖中両宮奉賛会長 目原 徳夫



平成五年の新春を迎えるに当り皇室の御繁栄を期し、私達の守護神として心支えとなる宗像大社の益々の御神徳の発揚を祈願し、宗像三女神の御健康と御多幸をお祈り申し上げます。

特に本年は国の親神でありせられる天照大神をお祀りする伊勢の神宮の式年遷宮の年に当り、神郡宗像の氏子として奉賛の誠を捧げ

ねばならないと思っております。宗像大社を中心として宗像地区に住む氏子にとって大切な心掛けであり、それがやがては郷土を愛し、国を愛する赤誠の現れとなるものと痛感いたします。

私は昨年より河野町長の後を受けて会長に就き一年経過しました。その間沖津宮、中津宮、辺津宮の諸行事にも任せていただきました。大島の評議員や敬神婦人部、翼賛会の方々が事ある毎に積極的に出て来て、気持ちよく神社の諸行事の準備に思惟がいたる姿には頭の下る思いがいたします。この尊い精神こそ自分達の氏神様を崇敬

ご挨拶

福岡県議会議員 伊豆 善也



平成五年の年頭にあたり皆様の御多幸と御繁栄を心よりお祈り申し上げます。

この数年、国内外共に激動の年が続いております。

特に昨年の我が国は、それ迄の好景から一転、厳しい経済状況となり、その先行もまだまだ不透明といわれるを得ません。また我が国が世界の中で果たす役割も年々大きくなり、あらゆることに地球規模で対処しなければならず、その指標、判断において、我が国の確固たる理念と信念がなければ、その姿勢を問われることになるでしょう。

このような厳しい、そして難しい情勢の中で、我が故郷宗像も新しい年を迎えるわけですが、幸いにも宗像には先人より受け継いで来た、世界に誇れる素晴らしい文化と伝統があります。それは、有為な人材を多く輩出する、将にこれからの日本にとって何より大切なものだと思います。

この伝統を私達はしっかりと受け止めて、世界の恒久平和と繁栄を願うと共に郷土の未来に思いを馳せ、大きな視野で物事の本質を見極めながら、小さなしかし大きな一歩を踏み出すこと、この宗像大社もすばらしいものですが、人が余り来ない季節、人が未だ眠っているような早晩の夕日の境内は、私達の先祖の声が開いてくるような気がしています。すがすがしく、一瞬の緊張感が全身を包む時です。

平成五年の年が皆様にとりまして、充実したすばらしい年でありませうよう頭のご挨拶といたします。

ご挨拶

福岡県議会議員 小山 達生



平成五年の年頭を心からお祝い申し上げます。

一昨年から続いた不況感の中であっても、私達の生活は十年前と比べて、豊かになっていくと実感します。

家の中、欲しいものはある程度そろっているという実感は満足度の高いものではないでしょうか。

しかしながら、同じように十年前と比べてみて、家にお祝い申し上げます。

宗像で勤務する幸せ

宗像警察署長 加藤 昌隆



管内は他地域同様、ここ数年事件事故が増加傾向にあります。平成五年の新春を迎えることは、皆様方のご支援があつてのことと感謝致しております。

署員一同、宗像の地で心置きなく勤務しておりますが、これも勤紀にも溯れる歴史の豊かさ、海山の幸、或は

とこそ、我々に課せられた使命ではないでしょうか。宗像大社という精神的な核を中心に、「神郡宗像」の民としての誇りを持ち、一歩一歩確かな歩みを積み重ね、連綿と伝わる風土人情の精神を、子女孫に継承して行けば、宗像は未来永劫その輝きを発し続け発展して行くものと信じております。

祖国愛、郷土愛、この言葉を自問自答し続けたいものです。

本年も皆様方にとりまして、素晴らしい年でありませうようお祈り申し上げ、新年のご挨拶といたします。

平成五年 交通安全宗像大社の御神徳をたたえ奉りて 1993

謹んで新年の御祝詞を申し上げます



福岡日産自動車株式会社
取締役社長 坂 巻 知 己
福岡市博多区千代1丁目21番37号
電話(代) 092-633-5506

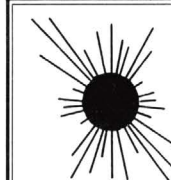
福岡日産モーター株式会社
取締役社長 井 内 雅 夫
福岡市博多区東比恵2丁目14-33
電話(代) 092-441-2323

北九州日産モーター株式会社
代表取締役社長 菊 竹 史 郎
北九州市八幡西区穴生3丁目10番24号
電話(代) 093-621-2136

日産サニー福岡販売株式会社
代表取締役社長 向 野 武 敏
福岡市博多区半道橋1丁目9番10号
電話(代) 092-411-4132

日産プリンス福岡販売株式会社
取締役社長 楠 見 記 久
福岡市中央区平尾3丁目5-3
電話(代) 092-531-9561

日産ディーゼル福岡販売株式会社
取締役社長 福 永 芳 雄
福岡市東区多の津1丁目39番4
電話(代) 092-629-1831



今年も安全運転を心掛けて下さい

宗像大社歌会 俳句作品集(三五〇)

ひかりヶ丘 南 風生
枯野星枯野の音を聞き澄ま
す

藤沢 井上 玄洋
輝きて雲間を渡る都鳥

田熊 安部 ゆき
娘にたより豪華車展車椅子

福岡 森 清
たそがれや果なき栗の落ち
葉掃く

名古屋 小田 喜一
冬ざれや石は時と通しるべ

福岡中央 力丸 玄風
色盡し遠き神話の杜落ち葉

田熊 力丸 一郎
庭の木々一樹は濃ゆしはせ
紅葉

自由ヶ丘 細川 絹子
冬跡の足ひきつりて歩きけ
り

日の里 花田イヅエ
冬つらら電工の声よく透り

津屋崎 井浦 良介
迎春の海おだやかに帆が進
む

若松 井手 清隆
元旦や俳誌新装なりて着く
元且や俳誌新装なりて着く



第三七九回 宗像大社歌会詠草

中村 吾郎 選
毎月末日メ切

田熊 賢頭かつ代
春鳥のこき鳴ものかかにか
かくに八十五歳のいのち保
ちて

(評) 春鳥の声を聴いてか
らの秋歌が「かにかくに」
につながら、四、五句へと
詠嘆する。思いの深い歌。

福岡東 桜井 ツ子
人忍ぶ氣配にゆふべ寄り来
たるものは秋風すだれを揺
りて

(評) 人忍ぶの「忍ぶ」に
もものは秋風の「もの」に
も強く魅かれるものがある。
言葉の幹旋に努めである。

福岡 本松 宣子
少しでも風邪によかれと橙
の酢をとりしあと湯槽に浮
かす

(評) 湯槽に浮いた橙の搾
り汁が目玉に写る。一、二句
も理でなく素直な実感が人
を頷かせる。

名古屋 小田 留子
風に臥す夫に作りし朝朝に
卵の黄身のまろまきまっく

大島 河野 英子
山道の草刈りをれば草蔭に
藪柑子の実赤く群れあゐる

大島 日原 節子
沖の瀬を埋めし鴉小春日の
光りまどひて吹かれつつ翔
ぶ

八幡西 山田 耕夕
共に征きし友は還らず氏神
に供へし経馬の古りたるを
見つ

吉留 白木うめ
この家に住みて四十年哀楽
をこめて拭きたる緑の板張
り

自由ヶ丘 津江富美子
昨日まで黄金色せるみのり
田の今朝刈られる畦道を
ゆく

原町 八波 五月
朝寝めに栗と小豆の匂ひ来
る三日恵比須の古きききた
り

武丸 中村さつき
広き田に麦生え初めし小春
日に雀鳴きつつ羽搏き昇
る

福岡東 清原 絹代
咲き盛る懸崖の菊に立ち止
り根元いかにとかがみて覗
く

徳重 石松や寿子
ごさ敷て草とる老の丸き
脊を包みてぬくし初冬のひ
ざし

鐘崎 安永 久子
樹木わたる野鳥の澄みし声
のみ英彦の山頂夫とどめ
しぬ

名古屋 小田 喜一
はらからの集えば同じ博多
訛離れて住める吾のみ違
う

赤間ヶ丘 松本 澄子
紅色に雲の広がり残照に煌
めく海をわが船進む

自由ヶ丘 細川 絹子
秋の陽は急速に没り海暗し
漁船一燈灯とし帰る

河東 薄 かほる
記念樹にと山桃の苗境内の
出店に選ぶ還暦の夫

池田 小田しめ
骨だけの子を抱きたる映像
の前にゆたけき今宵の夕映

日の里 後藤 君代
晴れ渡る空にはつかろう
梅の花ひらきたりひとり佇
む

城南ヶ丘 中間日出子
臥所にて救急車の音ききな
がら母住む方か耳すましお
り

池田 小田 いせ
幾たりの人を呑みたる火砕
流の跡生々しき惨状に立つ
り

吉留 高山 信子
女孫二人赤き車に古家にの
りつけてより秋風の吹く

滋賀 小西 峰子
父連きて涙も枯れし翌朝に
主なき茶碗をそとと抱きし
む

宗像大社一ヶ年祭事表

一月一日	元且祭
一月二日	新年祭
一月三日	元始祭
一月十三日	献米奉告祭
一月十五日	成人祭
二月三日	節分祭
二月十一日	建国祭
三月十九日	松尾神社祭
三月二十日	皇霊殿遥拝式
四月一・二日	春季大祭
四月二日	宗像護国神社祭
四月六日	沖・中両宮春季大祭
四月二十九日	昭和祭
五月五日	五月祭・浜宮祭
五月二十七日	沖津宮現地大祭
七月十五日	祇園祭
七月三十一日	大祓式並夏越祭
八月七日	中津宮七夕祭
八月十五日	護国神社戦没者追悼祭
九月一日	千灯明
九月一日	風鎮祭
九月二十三日	皇霊殿遥拝式
十月一日	海上神幸「みあれ祭」
十月一・三日	秋季大祭「田島放生会」
十月三日	宗像護国神社祭
十月十七日	表千家々元献茶祭
十月二十九日	沖・中両宮秋季大祭
十一月三日	明治祭
十一月十五日	七五三祭
十一月二十三日	新嘗祭
十二月十五日	古式祭並鎮火祭
十二月十九日	松尾神社祭
十二月二十三日	天長祭
十二月三十一日	大祓式並除夜祭
毎月一日	月次祭
毎月十五日	月次祭

賀正

松尚開発株式会社
福岡国際カントリークラブ

池と赤松の三十六ホール
福岡県宗像市大字朝町
電話〇九四〇三二三五四(代)

御礼

当大社恒例の大祓式履行に当りましては、宗像市郡内氏子各位並びに全国崇敬者の皆様より多数の人数をお寄せ戴き、お蔭を以ちまして、祭典は天候にも思われ滞りなく、盛大裡に履行致すことが出来ました。ここに誌上を以ちまして御礼申し上げます。平成五年一月吉日

宗像大社 宮司 養父 守
崇敬者各位

献米袋配布並に取纏め御礼

平成四年度(宗像大社奉仕奉仕)に於たり、市郡氏子各位への献米袋配布並に取纏めにつきまして、は年末年始お忙しい中、御協賛を賜り厚く御礼申し上げます。祭典は例年にもまして盛大厳粛に履行致すことが出来ました。ここに誌上を以ちまして御礼申し上げます。平成五年一月吉日

宗像大社 宮司 養父 守
宗像大社氏子会 会長 出光 太蔵
宗像大社氏子会総代 各位

賀正

玄界灘を望む風光明媚な
格調高いシーサイド・コース

西日本開発株式会社
玄海ゴルフクラブ
福岡県宗像郡玄海町
電話〇九四〇六二二三三(代)



平成五年 新年おめでとうございます 1993



〇玄海国定公園の中心……風光明媚……生魚料理……宗像大社からバス五分……神湊旅館組合

魚屋旅館	電話〇九四〇六二二三番
みなと荘	電話〇九四〇六二二五番
玄海旅館	電話〇九四〇六二〇〇番
高嘉旅館	電話〇九四〇六二二二番
ニュー千鳥荘	電話〇九四〇六二〇六番
大島屋旅館	電話〇九四〇六二〇五番
松風荘	電話〇九四〇六二〇二番
泉館旅館	電話〇九四〇六二〇三五番
魚庄	電話〇九四〇六二三五番
川口屋旅館	電話〇九四〇六二〇四八番
はま荘	電話〇九四〇六二〇五〇番
神湊スカイホテル	電話〇九四〇六二三八〇番